

刊夕日一廿月一十



発行所 福島縣平町大町五
新いわき新聞社
電話 一五五五
郵政 第五五五五
代官 谷 政 人
印刷 谷 政 人

常識講座
カロリーは熱量の単位
から一度の燃焼で生ずる熱を
一カロリーの単位で表す。生活
に要する熱量は約二千
カロリーの熱を供給するもの
が最も適当である。

一週一言

濱通今次の暴風雨災害は
本縣にとつて決して一小區
域のものではない之れを人
口の上から云ふなれば縣下
の約三分の一を占むる四十
餘萬人に大なる影響を有つ
被害である。

平の小学校費對策

更に直接的に云へば一年
一度の収穫を奪はれた農村
に於ける稲束の流失、殊に
慘極まるものは漁濱一帶の
災害で數千圓乃至數萬圓に
及ぶ漁船漁具の難破沈没に
加へて再び還らぬ漁夫數十
名の海の犠牲もある。

平の小学校費對策 新校が現校増築か

經費關係に片よる事もならず
と云ふて無い袖も振れず

業の主力を失つた當業者
には再び起つ能はざるもの
もあれば怒濤に吞まれた漁
夫の遺族には路頭に迷はね
ばならぬものが少なくない
目を當てられぬ慘狀は赤土
内務部長の視察等にも深刻
な感をもたれたであらう。

平町が明年の新學期から昭
和九年年度に及ぶ小學校の
收容に關し學務委員會の考
究を練られてゐることは既
報の如く八年度を辛ふじて
各校現校舎のまゝ間に合せ
得るとしても八年度の豫算
目録に關する町財政の現
狀に鑑みる同案に對しての
意見が區々に別れ相當重要
視されてゐるが就學兒童増
加の既往を實例とする卒業
によれば、
昭和八年度に於ける男三
七女三五八計七八名は
五年後の昭和十二年度に
男五〇四女四八三計九八
七名、

石城地方の 米價高騰

暴風雨以來一
俵五十五錢

第一校昭和八年度の一四
〇四は五年後の十二年度
に一九五二、第二校の一
三六七は一七五八、第三
校の男四三一、女四九二計
九一三、男五三七、女六六
六、計一一三九、
増加し即ち八年度に於け
る同兒童男一八三五、女一
五九計三三九四名は昭和十
二年度に男二五〇九、女二
〇四九計四五五九名となる
此の増減を計するに第四小
校の新設を計畫を立てたも
地もの一俵が作今八圓四十

新米の標準 鑑定會

明二十二日
平穀検査支所

平町穀物検査支所では明二
十二日午前九時から米の鑑
定會を開催されるが今回は
收穫期に臨んでの標準を決
定せねばならぬ關係で福島
の本所から小野所長及び管
野技手臨席の等支所管内
からは平の五、四倉出張所
の三、勿來同の二名等全員
出張員同様に鑑定研究を
なす。

送別會

村の會議室で
石城郡内郷村では本年の新
入營兵二十五名の爲め去る

平町土地 處分協議

今二十一日土
木委員會開催

平町では今二十一日午後一
時から土木委員會を開き新
川改修工事で差迫つてゐる
同堤防兼用道路盛土に要す
る土取場を町公園の開墾路
に求め一舉兩得の策を講
ずるもの諸件に就て協議し
た。

新聞の 標題から

大森 勇
（七）

た。小説の筋はアントワ
老人は毎年十月下旬初雪の
通信を受け取ると必ず病氣
になる云ふのであつた。
その一節にフランスでは十
月の初雪と七月の初雪とは
妙に新聞の特だねになるも
のだと書いてある。
私は寒いのは嫌だが雪景色
は好きなので、新聞紙は初

選舉名簿に 異議申立

平町は於ける衆議院及び縣
町選舉名簿登録者に脱漏
のあるらしいことは既報し
たが去る十九日の名簿總覽
期間最終日に右に關して異
議申立を提出せるものは左
記四名で町では目下資格の
有無に就き詳細なる調査中
である。

漫趣漫評

求思樓
夜長物語（上）

▲異議申立者既報せる白
銀町の一、字仲町柿崎
某、紺屋町鈴木某、字杉
鈴木某（以上）

車手貸

新規物を
格安にお
譲も致外
平町大町（若松醫院隣）

半谷

雪の記事を如何な風に取扱
ふか、殊にその標題には如
何な美しい文字を使ふかと
初雪の降る日を待つて居た
朝寢床の中で新聞を見た。四
日には「北の國、雪降り少
し美文的な初雪を降らし
て下す。」（終）

夜長物語

求思樓
夜長物語（上）

「私しなハア書事なん
判りましねエだが百姓して
るだて馬のちつとんベエ知
つて居りやすだ馬ちうやつ
は草の中さ首イッコンて
たべる時は眼つくまいとし
てきつと眼細くしてつぶ
る様にするものでがすに此
の馬ア大きな眼明いてゐる
丁目丸は商店脇小路、三
丁目丸は商店脇小路、三
丁目丸は商店脇小路、三

新聞の 標題から

大森 勇
（七）

十九日午後一時村會議室に
於て送別會を開き村内有志
から激勵の辭あり出席多數
盛會であつた。
▲平町小賣相場上白一キ
ロ十七錢五厘、中白十七
錢、並白十六錢五厘、田
稻白二十錢、陸稻十九錢
五厘、搗稻十九錢五厘、
平麥十三錢。（以上）
平町に於ける新入營兵の觀
望會は来る二十四日午前九
時縣社子鐵倉神社に報告祭
を執行の後同十時半から聚
樂館で宴會を催す等である
が余興に琵琶及び劍舞があ
ると。

産業万有

穀物の補助乾燥

簡易乾燥法(七)

農試本場 伊藤技師

配合剤

配合量

粉炭 一六貫一〇〇

普通土 四貫二五

粘土 八〇目 五

石灰 二〇目 一、五

水 三、四升

配合剤

配合量

粉炭 一六貫一〇〇

普通土 四貫二五

粘土 八〇目 五

石灰 二〇目 一、五

水 三、四升

配合剤

配合量

粉炭 一六貫一〇〇

普通土 四貫二五

粘土 八〇目 五

石灰 二〇目 一、五

水 三、四升

配合剤

配合量

粉炭 一六貫一〇〇

普通土 四貫二五

粘土 八〇目 五

石灰 二〇目 一、五

水 三、四升

配合剤

配合量

粉炭 一六貫一〇〇

普通土 四貫二五

粘土 八〇目 五

石灰 二〇目 一、五

水 三、四升

配合剤

配合量

粉炭 一六貫一〇〇

普通土 四貫二五

粘土 八〇目 五

石灰 二〇目 一、五

水 三、四升

配合剤

次に之れを板の上に併列して置き一兩日を経更に横たへ十数日間日當り及び風通しのよい場所にて充分に乾燥するのである(煤炭製造器は四國大坂市南區安堂寺町二丁目峯字一郎方て販賣)

ガソリン
モビール油
日本石油
株式会社
特約販賣

油問屋
關内油店
警城 電話長16,460

支店 郡山市
電話長八二二三
支店 茨城県
電話長平海七三
油槽所 出張所
平町四丁目
郵便局前



煙突の特賣開始

(期 十月十五日より)
(間 十二月卅一日まで)

大谷建材商店

平紺屋町 電663

外科 内臓外科
整形外科 醫學士 内木宗八
外科一般
産科、婦人科 院長 木村寅次郎
(電話一六四番) 平町新川町一九
木村病院

洋服の
御用命は
高島屋



模範
裁縫
高島屋洋服店
平町驛前 電三八六番

寶商事社 伊東一

月賦建築 (第一回申込受)
御希望者は至急御相談に御出下さい
平町南町十一番地(廿三夜會側)

◎二間か三間位の住み心地よい文化住宅
最初からおもむろに好きな場所へ好きな家
が十間位の家を建てて居る中に五
六年で自分の家となる方法
サラリーマン絶好の機会

入院應需
藤沼醫院
電話五〇七番
紺屋町

佛蘭西料理
レストラン サロン
平町田町 電352

服んで良く効く
(絶対に胃腸を害しません)
淋病と
特効薬 濟淋
本舗責任製劑 水野藥局
平町一丁目 振替貯金口座
仙臺八八七六番

良品廉價店
平町驛前

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平町田町、電五一三番
院長 醫學士 高久忠



カクニ石鹼
生命と信用を賭して精選
せる純良の
●質と●量●
最後の一片が消え去る迄
優雅な香が續く
お化粧用
一ヶ 十銭
壹打 一圓二十銭
洗濯用
一ヶ 十銭
壹打 一圓
つるや
平町 4 • 電140